

TRAFFIC SCOPE

「TRAFFIC SCOPE」は交通参加者の行動観察を通じて、ドライバーやライダー、自転車利用者、歩行者に守るべきルールがあることを再認識してもらうための連載記事です。

交通参加者の行動を観察する

自転車は車道と歩道のどちらを通行しているか？

DATA 基礎情報

自転車対歩行者の死亡・重傷事故の発生場所は歩道が最も多い

2024年の自転車(第1・2当事者*)の交通事故件数は6万7531件と、2014年の10万9269件から約38%減少している。しかし、相手当事者を歩行者に限ると、2014年の2551件から2024年は3043件に増加している。また、2024年の自転車対歩行者の交通死亡・重傷事故のうち、歩行者が死亡または重傷となった事故は歩道で最も多く発生している。道路交通法では自転車は軽車両と位置づけられるため、車道と歩道の区別があるところ

は道路(車道)の中央から左側部分の左端寄りを通行しなければならない。自転車が歩道を通行できるのは、①道路標識・道路標示で歩道を通行することができることとされている時、②運転者が13歳未満もしくは70歳以上または一定の身体障がいがある時、③歩道を通行することが「やむを得ない」と認められる時(例:道路工事や連続して車両が駐車している場合など)である。

今回は、東京都内の車道と歩道の区別がある道路2カ所で自転車の通行位置を観察した。

*第1当事者は交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。第2当事者は過失がより軽いか、過失が同程度の場合は被害がより大きいほうの当事者。

WATCHING 観察

歩道があれば歩道を選択する自転車利用者が多い

観察場所Aは葛飾区にあるJR「亀有駅」近くの道路。車道の両側に歩道が設けられている。ここを1時間に通過した自転車302台のうち車道を通行していたのは45台(14.9%)、歩道を通行していたのは257台(85.1%)。歩道の幅が広いことから、歩道での通行位置も観察したところ、車道寄りを通行していたのは約半数にあたる130台だった。車道を選んでいるのは、より速く走りたい自転車利用者のように感じられた。一方、歩道を通行する自転車の速度も全体的に高い。歩道や横断歩道に歩行者がいても徐行しているとはいえない状況だった。また、車道を

挟んで東西にある歩道のうち、西側は自転車が通行する場所を道路標示で明確に示しているが、それに従わない自転車が見られた。観察場所Bは世田谷区にある小田急電鉄「経堂駅」の近くの道路。車道の両側に歩道が設けられているが、車道と歩道の幅はAに比べて狭い。

ここを1時間に通過した自転車312台のうち車道を通行していたのは49台(15.7%)、歩道を通行していたのは263台(84.3%)だった。Bの車道の端は青く着色されており、自転車はこのブルーゾーン(自転車通行帯)の通行が推奨されている。しかし、ブルーゾーンを通行していると、横を通過するクルマと接近する。そのため、あえて狭い歩道を選ぶ自転車が多いと思われる。歩道で自転車同士がすれ違う場面もあった。



観察場所Aの西側の歩道は歩行者と自転車が通行する場所が分かれているが、指定されている車道寄りを通行しない自転車もいた



観察場所Aの東側の歩道では徐行せずに歩行者の間をすり抜けていく自転車が少なくなかった



数は少ないが、観察場所A(左)、B(右)ともに車道を逆走する自転車が見られた



ADVICE アドバイス

歩道は歩行者優先の場所であるという意識を持ってほしい

A、Bとも8割以上の自転車が歩道を通行していた。どちらも観察時間帯はクルマの往来があったため、車道よりも歩道を通行するほうが安全だと判断していると思われる。しかし、歩道には歩行者がいる。自転車が歩行者の脅威にならないよう配慮しなければならない。観察中、歩道

に歩行者が多い場面でも、自転車を降りて押し歩きする人はほとんどいなかった。

また、歩道では中央から車道寄りの部分を徐行しなければならないが、このルールを意識している自転車利用者は少ないように感じられた。自転車は車道の左端寄りを通行することが原則で、歩道の通行は例外であることを自転車利用者は再認識すべきである。そして、歩道を通行するのであれば、歩行者優先の場所であるという意識を常に持ってほしい。

観察結果

観察場所 A

東京都葛飾区亀有3丁目付近
観察日 / 2月13日(金)
観察時間 / 8:00~9:00
天候 / 晴れ



車道の両側には広い歩道が設けられている



歩道いっぱいに広がって自転車が通行する場面もあった



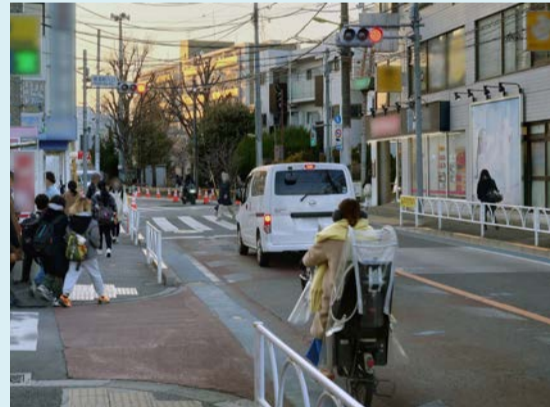
高校生と思われる自転車利用者の並進が見えなかった

●自転車の通行位置(台)

車道		歩道		合計
45 (14.9%)		257 (85.1%)		
左側通行	右側通行(逆走)	車道寄り	車道から遠い側	
43 14.2%	2 0.7%	130 43.0%	127 42.1%	

観察場所 B

東京都世田谷区経堂5丁目付近
観察日 / 2月13日(金)
観察時間 / 16:00~17:00
天候 / 晴れ



歩道は狭く、車道の両端にブルーゾーンが設けられている



歩行者がいても歩道を通行しようとする自転車が少なくなかった



スマートフォンを注視しながら車道を通行する自転車利用者

●自転車の通行位置(台)

車道		歩道		合計
49 15.7%		263 84.3%		
左側通行	右側通行(逆走)			
33 10.6%	16 5.1%			